

H. P. Report

IP電話（3）

では、実際に使用するときにはどうなるのでしょうか。必要な機器としては、「IP電話アダプタ」や「V o I P-TA」と呼ばれる専用機器があります。どちらもアナログ音声をデジタル化したり、そのデータをどこに送ればいいのかをサーバに問い合わせたりする機器で、今回からは、電話機はこのアダプタに接続して使います。このうち「IP電話アダプタ」は、既存のADSLモデムを利用するもので、ADSLモデムのLANと電話のスプリッタからの電話線を接続して使います。IP電話アダプタには、普通の電話機とパソコンを接続します。これに対してIP電話機能付きADSLモデム（V o I P-TA）の場合は、アナログ電話線をそのままモデムに接続することになり、接続は簡単になります。これらのアダプタはサービスを提供するプロバイダからレンタルするのが一般的です。

IP電話は普通の電話と同じサービスを提供するのかといえばそういうわけにもいかず、まず、110番や119番などの緊急通報や、フリーダイヤルなどはかけることはできません。また、携帯電話、PHSに対しては、一部のサービスで利用できない場合があります。また、固定電話からの着信については、うわさの「050」の番号がIP電話についても、今年の夏以降にならないと、電話局側の交換機の対応ができていないためかけることはできません。ただし、緊急通報などについては、アダプタ側で対応し、その場合は普通の電話の方式と同じ方式に自動で切り替わるため、特に意識しなくても通報することはできます。

実際の手続きは、サービスの申し込みはプロバイダに対して行います。一方、一体型モデムや外付けのIP電話アダプタの場合は、利用しているADSL回線が、ホールセール(ADSL回線事業者がプロバイダに回線をおろし、プロバイダが提供するもの)の場合とNTTのフレッツの場合によって違います。ホールセールの場合は、サービスの申し込みと機器の貸し出しの申し込みをプロバイダに対して行います。フレッツの場合は、機器の貸し出しの申し込みをNTTに申し込む場合と、プロバイダから提供する場合があります。この際に申し込む機器は、現在の使用機器を含めて検討しますが、配線のしやすさからすると一体型を選択するほうが無難ですし、レンタル料も安くなる場合があります。実際使用する場合は、パソコンを接続するだけで使用できる場合と、パソコンを接続して「V o I Pサーバ名」、「V o I PユーザID」などを設定する必要がある場合もあります。

実際のサービスはどのサービスもほぼ同じで、固定電話に対する通話料としては3分で7.5～8円程度、一部のサービスでは携帯電話への通話も可能で、1分25円程度です。他に月額300円程度の基本料と380円程度(一体型の場合は780円程度)の機器レンタル料、が必要となりますが、サービスによってはADSL接続サービスに基本料が含まれている場合もあります。同一のIP電話事業者であれば通話は無料ですが、それにはNTTコミュニケーション系、KDDI、日本テレコム系、ソフトバンクBB系、フュージョンコミュニケーションズ系、ぷららネットワークス、NTT-ME系があります。KDDIと日本テレコム、パワードコムは自社の音声IP網を相互接続する予定で、ぷららネットワークスとNTT-MEは既に相互接続しています。前にも書きましたが、同一プロバイダで複数のIP電話事業者を利用できる場合(BIGLOBE)もありますが、この場合は無料電話とはなりませんので注意が必要です。(次回に続く)

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 5月26日号

特集 「安くて高品質」への原点回帰

→以前、安くても高品質を売り物に世界市場へ進出していった日本企業、安さで物を売る韓国、台湾メーカーも品質で日本に肩を並べるところまできている。さらに、安い労働力に支えられた中国企業が迫ってきている。その中で高付加価値に活路を見つけようとしてきたが、実際は不具合や回収騒動に品質にすら危ぶむ見方も出てきて、必ずしもうまくいっていない。今一度、「安くて高品質」へ方向転換が必要な時期にきている。各部門ごとに分断された社内の技術を結集し、最先端だからできる低価格、付加価値の排除などで低価格に挑む。

解説 手のひらプリンタ、離陸間近

→デジカメと100万画素携帯に接続するプリンタ。つないですぐに写真印刷ができるプリンタがもうすぐ発売となる。

○日経パソコン 5月26日号

特集 Access完全理解

→WordやExcelは使えるけど、同じOfficeのAccessは使ったことはないという人は多い。初めての人でも必ずわかると銘打ったAccessの入門編。

特集 今から始めるネットオークション

→だれでも気軽に売り買いができるネットオークション。魅力はいっぱいだがなかなか参加できない人向け、ネットオークションの知っておきたい基礎知識。

レポート 今さら聞けないバッテリーの正しい使い方

→ノートパソコンやデジカメで使われているバッテリー。何気なく使っているが、正しい使い方をしないとその性能は十分に生かせない。フル充電はバッテリーは長持ちしない、デスクトップの代わりに常にAC電源をつないでいるなら、バッテリーをはずしたほうがよい。とはいってもそのためのデメリット（8割充電ではバッテリーで使用できる時間は短くなり、バッテリーを入れなくてノートを使っていたら停電に対応できないなど）もある。

○日経バイト 6月号

特集 苦悩するOffice

→97、2000、XPときて今度またOfficeの新版が出るらしい。しかし、Officeとしての新機能はなく、XML対応が目玉。Web対応のシステムとの連携が可能になるが、クライアントはすべてWebブラウザという流れとは別になる。しかし、その連携も十分とは言えず、1ステップ。

特集 パソコンを守る

→持ち運びのできるノートを含む携帯情報機器。便利だけど、情報のいっぱい詰まったものが盗まれることもあり、悪用されることもある。盗まれないようにするには、盗まれても情報を使われないようにするには。もちろん廃棄するときはきちんとしないと危ない。

○日経システム構築 6月号

特集 “強い”運用に変える

→コスト削減の要求、多様な製品、技術の導入により運用がさささえ切れなくなっている。サービスレベルを維持するには、運用の役割を再定義し、監視システムを構築し、他部門を巻き込んだ運用体制を構築する。

特集 COBOL資産を生かす

→技術とコストの両面から“COBOL資産の再利用”が注目されている。これまでの資産を活用しWeb化しようとする動きだが、非互換性などもあり、再分析、問題点の洗い出し、資産の整理が必要。

○ASCII 6月号

特集 DVDの256倍活用法

→CD-Rがどうのこうのとっているうちに、記録型DVDが実売3万を切ったことで一気に普及期に入ってきている。今一度基礎から理解(特にいろいろある記録方式)し、製品動向もつかむ。

特集 気になるネットの○と×

→ブロードバンドのADSLとFTTH、使い放題データ通信、無線LAN規格、IP電話と固定電話などどっちがどうなんだという比較と検討。

○DOS/Vmagazine 6月15日号

特集 本命! Springdaleマザー大検証

→FSB800MHZに対応したチップセットIntel865ファミリー(開発コードSpringdale)が発売となった。サポートするメモリモジュールはDDR400、1000BASE-Tをサポートし、シリアルATAに対応している。実際の性能は。

特集 1000BASE-T環境構築術

→利用できる環境になってきた1000BASE-T。まず仕組みから、利用方法までを解説。